

若戸大橋の安全性について

【引継ぎ時の健全度調査】

- 若戸大橋を旧道路公団から引継ぐに当り、橋梁・コンクリートの専門家や施工経験者、また、長年維持管理してきた旧道路公団及び市で構成する「技術検討委員会」において、コンクリートや鋼材の耐久性等について調査のうえ、健全性を確認していただきました。
- その結果、総合的に評価すると、吊橋部、アプローチ部とも概ね良好な状態に保たれており、今後、定期的な塗替え塗装と適正な維持管理を行っていけば長期にわたり健全性を維持できるものとの判断をいただきました。
- 併せて、適切な維持管理を行うための「維持管理マニュアル」を策定していただきました。

【現在の維持管理】

- 現在の維持管理は、策定した「維持管理マニュアル」に従い、日常点検（毎日）・通常点検（毎年）・定期点検（5年毎）・臨時点検（震度4以上など）・詳細点検（必要時）を行って、構造物等の異常を早期に発見することとしています。
- 点検結果によっては、「技術検討委員会」のような専門家で検討していただき、迅速に対応することとしています。
- また、ケーブル及び鋼構造物の健全度を保つために、定期的な塗替え塗装を行っており、平成19年度は中間塔の塗替え塗装を行いました。今後も主塔やケーブル等を順次、塗替え塗装を行うこととしています。
- 今後とも、適切な維持管理を行い、ご利用されるみなさまが安心して通行できるよう努めてまいります。